

令和6年度「#あおばな in 八戸北高校」開催概要

県内の高校生の皆さんに、知事との意見交換を通して県政を身近に感じてもらうとともに、新鮮な意見・発想や県政に対する期待等を把握し、開かれた県政の推進と今後の県政運営の参考にするため、県民対話集会「#あおばな～青森・未来・対話～」を下記のとおり開催しました。

○日時：令和6年7月3日（水）14：20～15：35

○場所：県立八戸北高等学校 第一体育館

○参加学生：全校生徒 622名

<生徒との意見交換>

代表生徒からの意見について知事と対話をしました。

- ①農家の所得向上と農福連携について
- ②若者へのたばこ対策について
- ③高齢者や支援が必要な方への支援のあり方について
- ④地域で活動する団体のネットワーク化について
- ⑤医師不足解消に向けた取組について
- ⑥物価高騰と円安に対応した支援と若者の還流促進について
- ⑦地域を巻き込んだ教育体制の構築について

上記に係る意見交換の後、約30名の生徒が参加し、野球ボールを使ったゲームを実施して、対話の重要性について考えました。

※知事から生徒へのコメントの一部を紹介します。

- ・県外で働きたいという人も含めて、みんなの夢を応援したい。でも、青森に戻ってきたいと思った人たちが仕事がある環境を整えて、若い人たちが戻ってきてくれる青森県にするため、仕事で魅力を作り、発信していく。働く場所として、青森県も良いと思ってもらえるように頑張りたい。
- ・これから皆さんは、先にあるゴールに挑んでいかなければならない。そこに正解はないし、ゴールはずっと先にある。そんな時に、家族や先生、生徒のみんなに対話をしていくと、きっと納得する答えにたどり着けると思う。ぜひ対話を大切にしてほしい。

